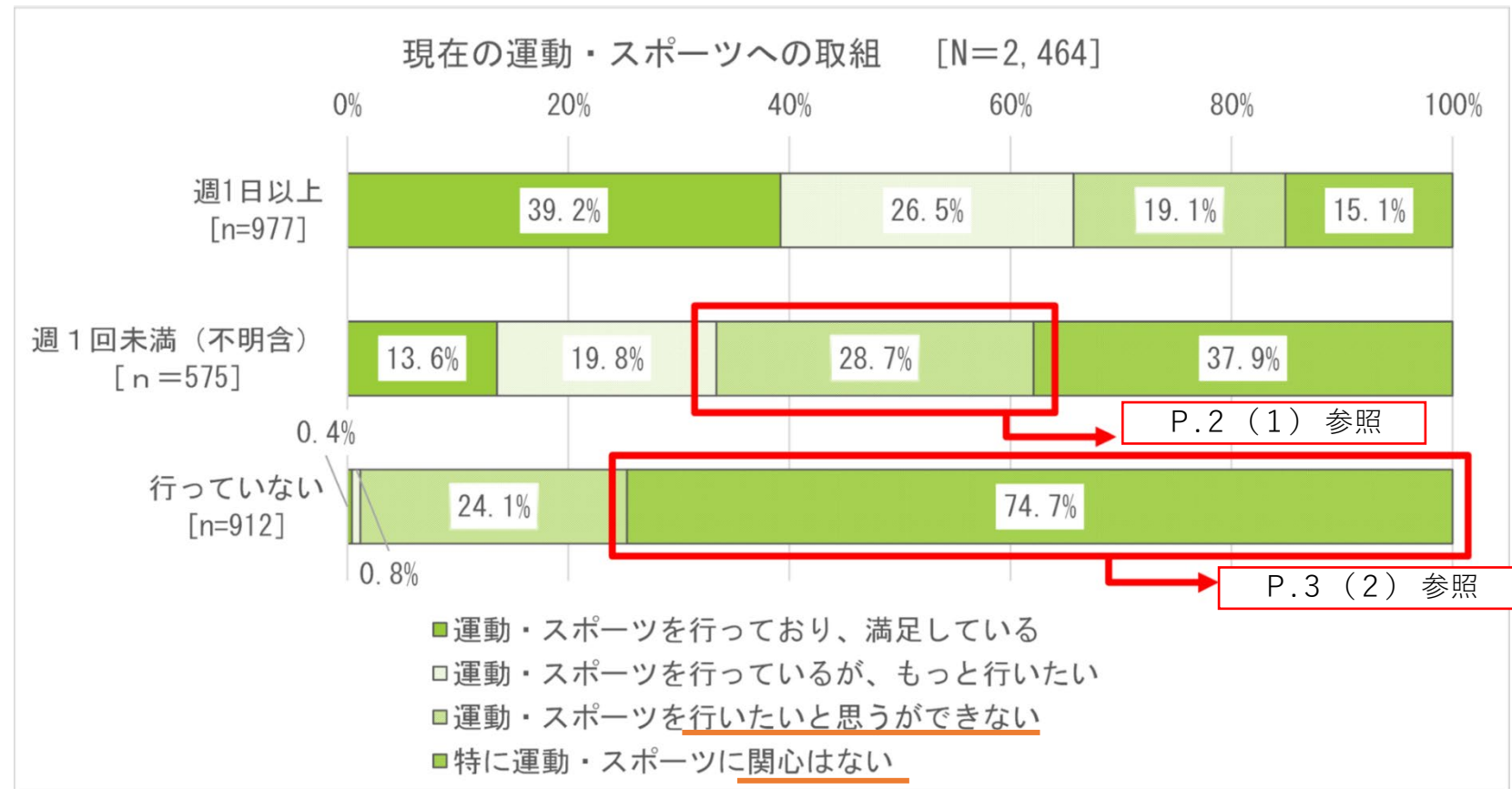


障害のある人のスポーツ実施の 促進について

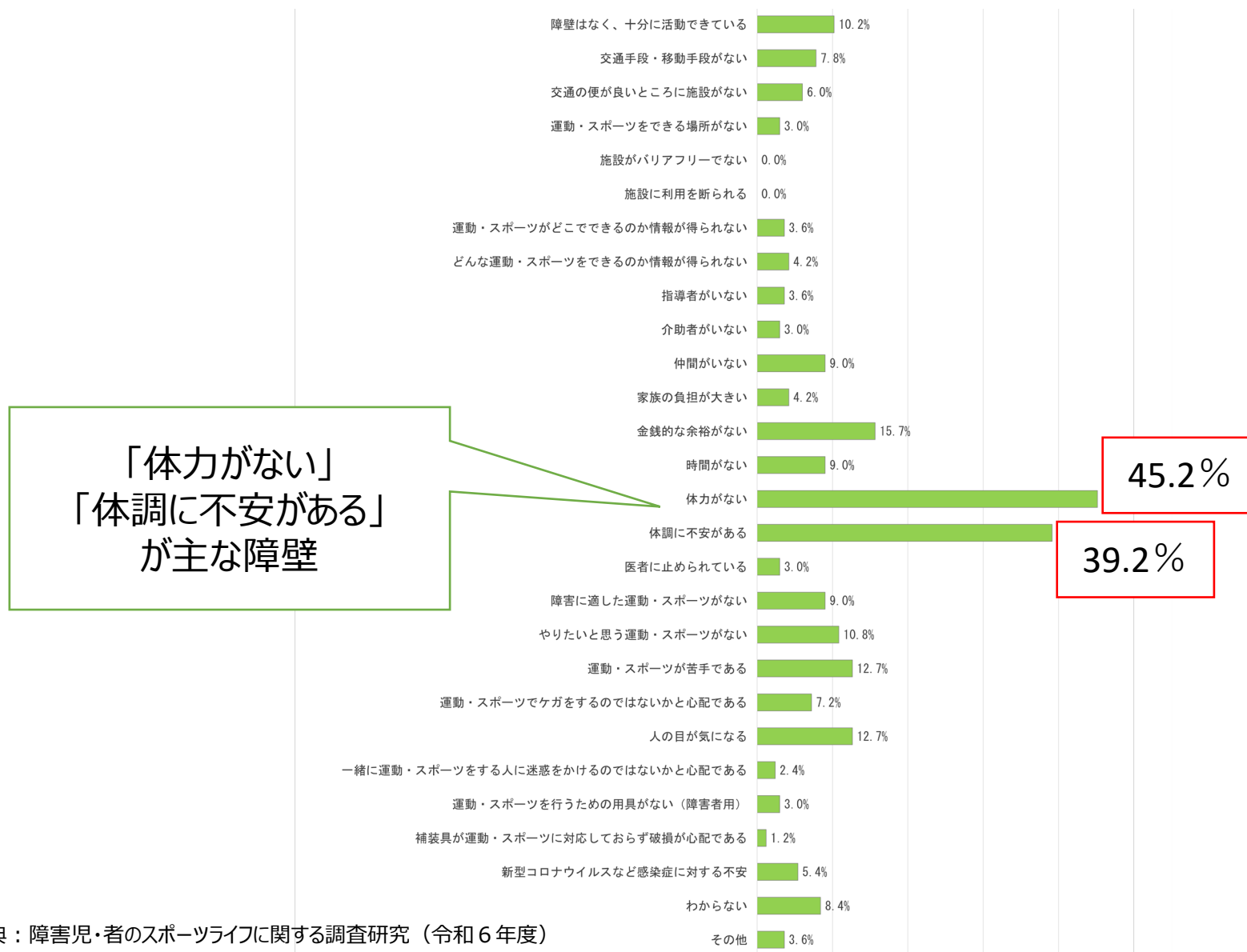
1 運動・スポーツに対する関心

- ・ 過去1年間の運動・スポーツへの取組について実施頻度別にみると、週1日以上の実施者では「満足している」が39.2%と最も多く、次いで「もっと行いたい」が26.5%であった。
- ・ 週1日未満の実施者で最も多かったのは「関心はない」が37.9%、次いで「行いたいと思うができない」が28.7%であった。
- ・ 1年間に1日も運動・スポーツを行っていない者では「関心はない」が74.7%と最も多く、次いで「行いたいと思うができない」が24.1%であった。



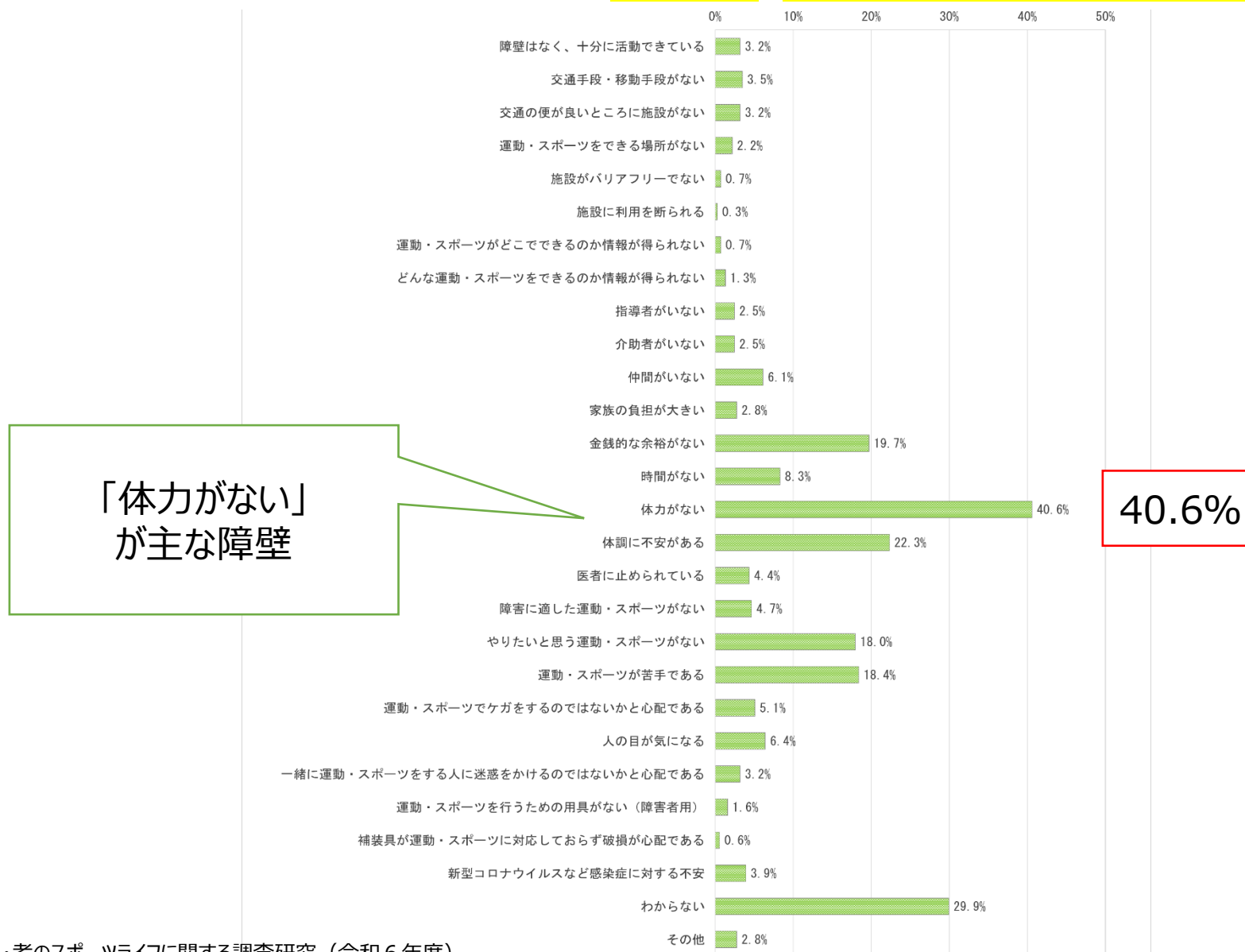
2-1 運動・スポーツ実施の障壁

(1) 過去1年間のスポーツの実施頻度が「週1日未満」の者で「運動・スポーツを行いたいと思うができない」者の障壁



2-2 運動・スポーツ実施の障壁

(2) 過去1年間に1日も運動・スポーツを実施しなかった「非実施者」で「特に運動・スポーツに関心はない」者の障壁



「体力がない」「体調に不安がある」と思っている障害のある方に対し、障害の程度等にあったスポーツ機会の提供が必要。

3-1 スポーツを始めたきっかけ（全体）



- 上位3つは、「家族に奨められた」「医師に奨められた」「特に理由はない・なんとなく」
- その中でも「特に理由はない・なんとなく」が最も多い。

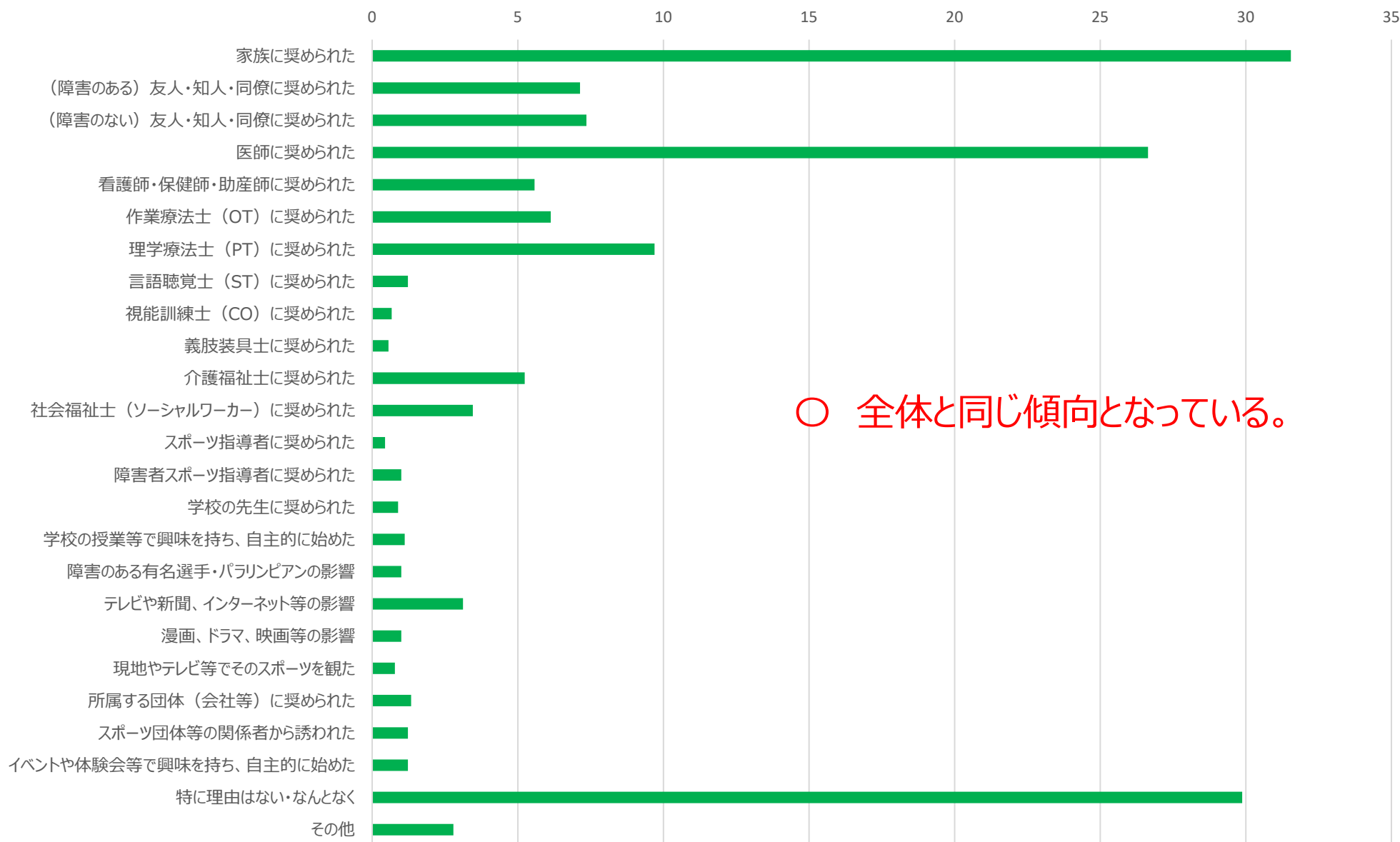
3-2 スポーツを始めたきっかけ（肢体不自由（車椅子必要））



○ 上位3つは、「家族に奨められた」「医師に奨められた」「（障害のある）友人・知人・同僚に奨められた」

○ 全体で最も多かった「特に理由はない・なんとなく」が少なく、理学療法士等の医療職、介護福祉士等の福祉職の割合が多い。

3-3 スポーツを始めたきっかけ（肢体不自由（車椅子不要））



3-4 スポーツを始めたきっかけ（精神障害）

